

第7期第3回 豊栄地区公民館運営審議会 会議録

日時： 令和2年7月22日（水） 午後2時～午後4時
会場： 豊栄地区公民館 大講堂
参加者： 豊栄地区公民館運営審議会委員 東委員、石川委員、岩井委員、北村委員
日下委員（副議長）、倉島委員、土田委員
藤沢委員、マルシェフ委員、村山委員（議長）
豊栄地区公民館 拝野（館長）、立川（主任）、佐藤、芹野、小池
北地区公民館 塚田（館長）、風間
傍聴人： 1名

- 1 開会
- 2 館長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 議 事

（事務局）新しい生活様式に基づく新潟市社会教育施設等のガイドラインについて
説明

（1）令和元年度事業報告、事業評価について

（事務局）令和元年度 豊栄地区公民館事業実施結果を報告

（村山議長）ただ今の説明について、ご意見、ご質問などありますでしょうか。

（北村委員）家庭の教育力の向上を支援する事業のところで、専門的な講師がいらっしゃる中で、ゆりかご学級の【みんなで子育てトークン】では、2期、4期共に講師が平成30年度のゆりかご学級の受講生がなっております。成果のところ、受講者の子育ての不安軽減や仲間づくりが出来てグループ化につながったということは、受講生だった方が講師になったことが、より不安軽減や仲間づくりが出来たのではないかと思います。

（村山議長）そのような解釈でよろしいでしょうか。

（拝野館長）【みんなで子育てトークン】の講師に当たってくださった方は、前年度ゆりかご学級に参加した先輩ママさんで、1回受講して自分たちの悩みとか、いろんなものを吸収しています。その経験だとか、いろいろな悩みを皆さんにお伝えすると同時に、新しい受講生の皆さんからも悩みを聞き、「こんな時はどうしていますか」などを先輩ママの視点でアドバイスをいただくと、身近に感じられたり、同じような悩みを共有しているんだなあということが分

かって、より理解が深まるということでお願いしていました。この5回の講座を通して、やはり皆さん普段家の中で、自分の子供と二人でいて、悶々としているものを、子供を預けて、自分だけの学びの時間ができるということで、やはりその機会を大切にしたいという思いが、サークルにつながって続いていっているのかなと考えております。ありがとうございました。

(村山議長) 他にはございませんか。藤沢委員ございませんか。

(藤沢委員) 特に意見はございません。たいへん幅広い多様な活動を、幅広い年代層に向けて、興味深いテーマを設定されていて、また、今のお話でもありましたが、講師陣も専門家だけではなく、地域の方々とか、私どもの大学の学生にもお声をかけていただいて、地域活動に貢献できていることも、大変うれしいなと思いました。

(村山議長) ありがとうございます。東委員いかがでしょうか。

(東委員) 学・社・民のところ未実施というところが残念です。ただ、先程藤沢委員がおっしゃったように、いろいろな事業をされていて、参加者もそれなりに多く参加されているようなので、私も逆に大変びっくりしました。もっと少ないかと実は思っていたのですが、資料を見させていただいて、結構多くの方が参加しているんだなあということが正直なところ。ただ、木崎地区というか、地区ごとでどうなのかなというものがあって、実際にうちの方は、公民館まで距離があるので、隣にコミセンはあるのですが、そのコミセンの活用などを教えていただけるとありがたいなと思います。

(拝野館長) ありがとうございました。学・社・民の融合による人づくり、地域づくりについては、平成29年度までは、公民館から学校へ出向いて、地域の方を対象に、出前講座という形で行っていました。実績としては、地域の割烹のご主人を招いて調理実習をやったりしていました。いろいろな特技を持っている方を学校に行っていただいて、その技術を伝えるような活動をしていました。ところが残念ながら、新潟市が財政的にも厳しくなり、重複している事業を統合することになり、公民館事業を地域教育推進課の事業に一本化することになりました。他の公民館では、公民館事業費の中で続けているところもあるのですが、残念ながら当館は廃止したというのが実情です。それから木崎地区の公民館事業にどれだけ人が来ているか、どんな利用をしているかですけれども、公民館として、文化芸能祭とかに支援に行ったりとか、備品を貸し出したりとか、そういうもので連携を図っておりますし、木崎地区でコーラスをやっておられる方は、公民館と文化会館で主催する「北区音楽祭」に出場いただいて、合唱を発表いただいたりとか、平日頃やっている活動を公民館などで発表していただいております。また、木崎地区は陶芸が

盛んで、コミュニティセンターに立派な陶芸専用の部屋があり活動しています。地域コミセンと公民館で補完する形で連携していければと思っております。

(村山議長) ありがとうございます。他にございませんか。

(土田委員) 公民館の講座とかを受けられた人とかいらっしゃいますけど、そういう方が講座をこういうふうにやっていたみたいなのはあるのでしょうか。例えば、「お家でできる親子遊び」では、どういう風に遊んでいましたとか、お家でこういう遊びができますよみたいなものを、ここには行けないけども、何かヒントみたいなものがあると、見た人が調べて「どういう先生なんだろう」と繋がって行って、広まっていったり、知ることができると思います。今までバタバタ子育てをしていて、ようやく最近、自分で家で遊べるものとか、子どもたちも知るということが面白くなってきたので、今回の資料をいただいて、どういうふうな講座とか、どういうふうな話が、これから大事か知りたくなってきたことが正直なところで、お聞きしたいと思います。

(拝野館長) すごく大切な指摘だなと思って聞いていました。今現在、過去にどのような事業をやっていたか、どんな講師だったか、どんな成果だったかということを見られるところはありません。ただ、公民館として事業広報に代えるものとして、SNSでFacebookを各公民館で立ち上げております。その中で、どんな事業で、どんな人が参加して、こんな反応がありましたみたいな、詳細な記録ではないですが、過去のことが振り返られる記録にはなっています。ただ土田委員がおっしゃったように、「そのこのところでこんな工作をしました、この図面を使うと同じものが出来ますよ」みたいな、サービスまでの提供はできていないのが現状です。今回のコロナの影響で、博物館などが、お家にながらできることを発信していました。我々も、お家で楽しめる工作の仕方だとか、そういうものを突き詰めて発信できればよかったですけども、まだそこまでは行っていませんでしたので、これからの課題にしたいと思います。ご指摘ありがとうございました。

あと美術展覧会などについては、今年度行った「和紙人形展」などは、魚沼など、県内各地から作品を観に来られていましたが、会期が終わって翌日になっても観に来られた方もいらっしゃって、それをその時の模様をモニターに映し出し、スライドショーで観てもらえるようになっております。その時観られなかった方に雰囲気だけでも味わってもらいたくって始めたものです。また、魚沼出身の星奈緒さんの企画展については、新潟日報さんが3回も記事にしてくれたおかげで、多くの観覧者がありました。これも同じようにモニターで紹介しています。美術展については、一過性のものなので、記録として残して置ければと始めているところですが、他のところもこれから工夫していきたいと思っております。どうもありがとうございました。

(村山議長) ありがとうございます。他にございませんか。

(岩井委員) 事業全体を通してお伺いしたいことですが、館長評価のところ、全事業を通してAの事業拡大が一つもない。お忙しい公民館のことはよくわかるのですが、どういうことで現状維持が多いのか、例えば参加人数が増えれば事業拡大のところ、1という数字が入るのか、そこら辺を教えていただきたいと思います。

(拝野館長) ご指摘のとおりです。この館長評価については、公民館の思いを反映させるルールなのですが、思いだけでは事業が継続できない。つまり、予算の裏付け、人的資源、時間のかけ方など、現実的な評価をしているところです。本当はこの事業を拡大したいのだけなど、思いはある部分があるのですが、やはり財政面で毎年厳しいものがあり、既存事業を止めて事業規模を拡大するという考えもあるのですが、今の事業を1つ2つ止めたところで、事業を拡大することは難しく、苦渋の選択で現状維持が多くなったということが実情です。

(村山議長) ありがとうございます。この後、北地区公民館の説明もありますので、一旦ここで豊栄地区公民館の事業評価ということでもとめたいと思います。運営審議会として、豊栄地区公民館の事業について、全体としてはB評価で現状維持となっているのがほとんどです。C評価の2つの事業がありましたが、これについては、意見もございませんでしたので、このようなことで結果報告とさせていただきたいと思います。続いて、北地区公民館より資料の説明をお願いします。

(事務局) 令和元年度 北地区公民館事業実施結果を報告

(村山議長) それでは、北地区公民館の説明に対して、ご意見・ご質問はありますでしょうか。

(北村委員) おもちゃドクターについて、自分が遊んでいた大きなブロックとか、ぬいぐるみとかであれば、ブロックなどは壊れたらボンドでくっつける、ぬいぐるみは汚くなれば、洗って縫っていたりしたのですが、おもちゃドクターでは、その時間内で全部直すのでしょうか。

(塚田館長) おもちゃ病院であります。基本的に持って来ていただくものについては、機械物、あるいは電池や電気で動くものとかです。ぬいぐるみとか持ってこられても、穴の開いたものは直せない部分でありますので、そういうものは

持って来ていただいても難しいと思います。この前サークルの活動を見学したのですが、本当に簡単なものであれば、30分ぐらいの時間をいただいて、今コロナの関係で、そこで待つていただくことはできないので、30分から1時間で直るようであれば、電話して取り来ていただくことにしております。もしそれ以上かかるようであれば、入院ということでしばらくお預かりし、サークル活動が1ヶ月1回ということで、次回の活動時にお渡しする対応をしております。

(村山議長) それでは私の方から一つお願いします。現代的課題を探り、解決を支援する事業の「有情のまちめぐり」というものがありますが、評価のところで、成果の満足度の目標値が80%、受講者の気づきも80%を目標にしてありますが、結果として100%と好評を得た事業となっております。同じ北区として、こちらの豊栄の人たちがこの事業に参加したときに、とてもいい事業に参加できたということで、私もそのことは聞いております。課題のところに講師の方の高齢化が問題になっている。それを何とか解決して、続けていきたいとあるのですが、それについて、何とかして拡大して欲しい。参加費も取るということなので、拡大して欲しいと思いますが、いかがでしょうか。

(塚田館長) 大変ありがとうございます。講師の高齢化というお話につきましては、どうしても講師に限られております。今お願いしている講師の方が、話がお上手ですし、地元でもある程度有名な方ですが、なにぶん高齢ということで、昨年、一昨年に体調を壊したということがございました。それを継いでいただけるような方がいらっしゃれば、私どもそっちの方に少しずつシフトしていきたいと思いますが、正直なところなかなか適任者が見つからないということもあります。今は特段ご健康で、時々公民館の方へも顔を見せていただいておりますので、大丈夫かなと思いますけど、確かに今後のことを考えると、公民館事業として後継者を育成することではないのですが、後継者の育成など、事業の継続性から行けば、私どもも次のことも考えていかななくてはならないと考えております。

(村山議長) 他に意見ありますかでしょうか。

(倉島委員) 事業報告書を全部読んでいくと、他の地域の方々とか連携して行うような事業が未実施とか、事業の見直しを検討しているという風に書かれているものが多いように思ったのです。コミュニティカレッジは、はまなす学会との連携がうまくいかず未実施。一休さんに関しては、企画運営を含めた事業内容の検討。サマーキャンプin海辺の森は、事業実施が可能かどうか内容の変更などを検討する。あと中学生のガイドについても事業の見直しを検討と書かれているのですが、地域の方々と連携してやる事業に、全てそのように評価があがっているというのは、地域の方と連携することはすごく難

しいと思うのです。私も意思の疎通ができなかったとか、時間の調整がつかなかったりとか、思ったように伝わらなくて成果が上がらないとか、できないということが多くなることはわかるのですが、せつかく北地区公民館として、松浜、南浜、太夫浜の地域にあるのであれば、その地域の方と連携して、公民館の負担を減らし、地域の方も積極的に参加できるような活動になっていけると、この先の展開もまた少し変わってくるのではないかと思います。今年度は、会議とか集まるとか、しっかり話し合うということは難しいと思いますが、その辺、今年度～来年度に向けて、何か考えがあったりとか、今動いていることがあれば教えていただきたいと思います。

(塚田館長) 確かに他のところとの連携に関しては、昨年度いくつかの事業ですけど、思ったほど連携がうまくいかなかったと思います。また、ご存じだと思うのですが、なかなか松浜地区など、地域と連携する場合に高齢の方がいらっしゃって、思った通りに人が集まらなかったとか、そういうことが今まであったようなことは、私も聞いております。だからと言って、できないということは申し上げるつもりはありませんので、それについては、引き続きいろいろな団体と連携できるところは連携して、お互いにやっていく。例えば委員が言われているように、公民館としては、最初の部分はお手伝いをして、あとは地域の方々が自主的なサークルを含めて、いろいろな活動ができるような手助けをやらないといけないと考えております。今、具体的にどのようなプランがあるかについては、この場で申し上げるだけのものは持っていません。今、ご存じのとおり新型コロナウイルス感染症の影響で、人と会ったりするというのは難しい部分もあります。その辺の様子を見ながら、必要な連携はしていきたいと思ひますし、また学校を含めて連携していきたいと思ひます。

(村山議長) ありがとうございます。他にありますでしょうか。

(東委員) 参加者のアンケートの結果がすごくいいのですよ。ただ、そこに参加したくなるような、参加しない人たちにどう働きかけるかがすごく大事ななと思ひっていて、参加すればすごくいい、それをどう参加していない人たちへ伝えるか。先程の対人関係は、すごくいいと思ひのですが、特に子供たちで参加してよかったという感想を、今年度中止になりましたがキャンプなど、どこかで伝える場があつて、口コミなどでそれが広がっていけばいいなと思ひました。特にサマーキャンプは連携事業でやられている活動なので、例えば参加した児童が夏休み明けの各小学校では発表してもらおうとか、何かできることがあるのではないかと思ひっていて、今つながりが取れない状況で、保護者も地域も子供たちも勿論そうなのですが、学校では繋がっていますので、公民館活動の事業拡大につながっていくと思ひのですが、その辺りをお聞かせいただきたいと思ひます。

(塚田館長) 学校との連携ということになると思うのですが、一つ成功したことがございますのでご紹介させていただきます。昨年度の事業の中で、中学生ガイドツアーが台風により中止になって、子どもたちが勉強した成果をなかなか発表する機会もなかったのですが、学校の文化祭を利用して、文化祭の中で子供たちにガイドの発表をしていただきました。これもある意味学校との連携で、つながったといえるのかなと思います。先程のサマーキャンプについてですけど、公民館の事業として終わってしまうと、それで終わりみたいになるのですが、学校とか地域教育コーディネーターの皆さんにご協力いただきながら検討していきたいと思います。

(村山議長) ありがとうございます。他にありませんか。

(マルシェ委員) 太夫浜小学校では「おはよう朝ごはん」という事業を何年間かやっています。その時は公民館から小学校に来ていただいて、小学校での開催でしたが、終わった後にお便りなどで料理の様子などをお知らせしたり、感想をグラフに○をつけたりして、参加していない人たちに活動がわかるようにしていました。また、小学校の廊下に活動の写真をプリントアウトして、広報スペースとして活用しました。色々なメニューとか、参加している様子などを展示して、保護者とか子供たちが自由に観れるようにしていました。質問なのですが、キネマ松浜劇場ですが、いろいろな作品を観れるようにしていますが、どのように企画しているのですか。

(風間主査) キネマ松浜劇場は、ボランティアの企画委員さんが6～7名いるのですが、事前に打ち合わせ会議で、次回はこういった映画にしようとか、そのような企画会議を行い作品を選定しております。ですから、エンターテインメント系もあれば、ドキュメンタリー系の映画であったりもします。「くちづけ」という映画は、一瞬、「えっと」と思うようなタイトルですが、実際には障がいがある方の家族のほほえましい内容のものだったりします。今日は楽しかったという内容もあれば、今日は考えさせられた内容だったりとか、いろいろな映画を企画委員が選定しています。チラシの広報も手伝っていただいたり、ポスターも貼りに行っていたり、結構年配の方も多いのですが、社会参加いただけるような内容になっています。地域の人に、北地区公民館では毎月第3金曜日は映画をやっているといわれることを目指してやっています。

(村山議長) ありがとうございます。他にございますか。それでは、北地区公民館の事業評価ということですが、今たくさん意見もございました。見直しの点も含めて、B評価ということで事業は継続されますが、新年度も頑張ってもらいたいと思います。

(2) 令和2年度事業計画について

(事務局) 令和2年度 新潟市公民館事業の基本方針、豊栄地区公民館、北地区公民館事業計画を説明

(村山議長) ありがとうございます。令和2年度の計画についての説明がありました。質問、ご意見等がありましたらお願いします。

(石川委員) 事業計画そのものではないのですが、岡方地区にはコミュニティセンターしかなくて、公民館がない。子どもは、公民館のことは知らないのではないかと考えている。これは長い将来でいいのですが、例えばコミュニティセンターで公民館の出前講座が来るとか、小学生の参加が少ないのであれば、コミ協のバスを使って移動できるとか、もし可能であれば岡方の子どもをいろいろな地区の子どもとふれあったり、学校で経験できないことが出来たりとか、今後考えていただけたらありがたいなと思います。

(拝野館長) どうもありがとうございます。私どもも旧豊栄地区ですと、長浦、岡方、早通、木崎とあるわけですけど、そういうところに出前だとか、連携できることがあれば、機会をとらえて、考えていきたいなと思います。どうもありがとうございます。

(村山議長) 他にございませんか。

(日下副議長) 「ゆりかご学級」なのですが、豊栄の方では1～3期は中止。北地区の方では、4期に当たる部分は開催する。なぜ判断基準が分かれているのか、教えていただきたいと思います。

(拝野館長) この「ゆりかご学級」については、全市一斉にやっているもので、とりあえず、1期～3期までは、皆さんに集まっていただいて、保育付きで事業をやるということが、特に保育のガイドラインの策定が間に合わなくて出来ない。それで1期から3期は中止を決定しました。4期については、今現在保育に関するガイドラインを策定して、保育者の皆さんに、これで安心して従事していただけるか、意見を聞いている段階です。それで保育者の皆さんが、このガイドラインだったらできるわと、多くの賛同が得られれば、4期は予定通りできるのですが、なかなか保育者も不安を持っているようで、もしかしたら4期も保育者が集まらなければ中止の可能性もあります。「ゆりかご学級」の代替事業としては、保育者をつけないで、親と一緒にやるとか、今検討しております。そして、1期から3期については、10月から11月位に何かできないかということで、今後募集をしていきたいと考えております。

(村山議長) 他にございませんか。それでは全体を通してまとめていただいて、日下委員より閉めていただきます。

(日下副議長) 皆様2時間にわたる協議お疲れさまでした。コロナの状況というのは、誰もが体験したことがない状況の中での今年度の計画でしたり、昨年度の効果に影響があったお話などがありました。評価についても、細かくお話を聞いて、継続ができたということに関しても、各自が安心をされていたりしていました。委員の皆様から様々な意見が出ていましたけれど、それに関しても様々な視点から、よりよい活動のヒントがあったのではないかというふうに感じました。公民館の事業が多岐にわたっていて、しかも同じことずっとやるのではなく、参加してもらった人にサークル化してもらっている性質を考えると、活動を続けていくことの難しさということも改めて感じました。限られた予算、限られたマンパワーの中で、色々と工夫をされているという印象です。予定通りいかないこともあるとは思いますが、区民の皆様に学びの機会を与えていただきたいと思います。以上です。

(村山議長) ありがとうございます。本日予定されていた議題がすべて終了しました。事務局に進行をお返ししたいと思います。